

平成 24 年度 国立情報学研究所実務研修 報告書

提出日：平成 25 年 3 月 29 日

所属：琉球大学附属図書館情報サービス企画係

氏名：稲永晶子

目次

- 1 研修目的
- 2 研修先および研修期間
- 3 研修内容
 3. 1 研修スケジュール概要
 3. 2 研修日程（日報）
 3. 3 研修内容
- 4 研修成果
- 5 受入体制・研修環境
- 6 研修を終えて
- 7 添付資料（例：調査の生データ、図表など）

1. 研修の目的

国立情報学研究所(NII)の提供する IRDB コンテンツ分析システムのデータを分析し現在の IR の状況を整理し、日本の IR の Green OA の実現度を把握する。また分析を通して学術雑誌掲載論文登録のワークフローについて調査し、GreenOA の可能性を探る。

2. 研修先及び研修期間

研修先：国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課

研修期間：平成 24 年 12 月 10 日（月）～平成 25 年 3 月 22 日（金）

3 研修内容

3. 1 研修スケジュール概要

○平成 24 年 12 月

- ・学術コンテンツ課の事業について理解する。
- ・研修成果テーマを決定する。
- ・日程スケジュールを組む

○平成 25 年 1 月

- ・ IRDB ハーベスト機関の登録コンテンツより日本のリポジトリ全体を俯瞰する。
- ・実務に即した新たな課題（PDF の全文検索に関わる課題）に取り組む。

○平成 25 年 2 月

- ・ IRDB のコンテンツから Journal Article と紀要に着目し、GreenOA の達成度について調査する。
- ・ 学術雑誌登録論文ワークフローの調査を行い、ワークフロー図を作成する。

○平成 25 年 3 月

- ・ 成果報告発表資料を作成する。

3. 2 研修日程（日報）

○第 1 週

- 12/10（月） 実務研修開講式
- 12/11（火） IR 担当打合せ
NII のコンテンツ事業概要説明
CiNii 概要説明
- 12/12（水） SPARC 事業概要説明
JUSTICE 概要説明
- 12/13（木） IR 概要説明
- 12/14（金） 実務研修テーマ検討

○第 2 週

- 12/17（月） 実務研修テーマ検討
- 12/18（火） IR 担当打合せ
NDL 講演会「HathiTrust の挑戦：デジタル化資料の共有における『いま』と『これから』」に参加
- 12/19（水） 博論実務担当者打合せ
HathiTrust 意見交換会
- 12/20（木） コンテンツ事業戦略会議陪席
- 12/21（金） ERDB 最終報告会陪席
博論実務担当打合せ議事メモ作成
HathiTrust 意見交換会議事メモ作成

○第 3 週

- 12/25（火） IR 担当打合せ
JAIRO Cloud 説明会準備
JAIRO 改修打合せ
- 12/26（水） JAIRO Cloud 説明会準備
- 12/27（木） 実務研修スケジュール作成

12/28 (金) 実務研修課題整理・スケジュール作成・

○第4週

- 1/7 (月) JAIRO Cloud ユーザー対応
LOD 勉強会参加
- 1/8 (火) IR 担当打合せ
JAIRO Cloud 説明会準備
- 1/9 (水) JAIRO Cloud 説明会準備
- 1/10 (木) JAIRO Cloud 説明会開催
- 1/11 (金) WEKO 開発会議陪席
山地先生より PDF セキュリティ関連の課題

○第5週

- 1/15 (火) IR 担当打合せ
実務研修進行具合報告
JAIRO Cloud パンフレット改訂打合せ
リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査
- 1/16 (水) リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査
- 1/17 (木) H24 第3回図書館連携作業部会打合せ日程調整
- 1/18 (金) H24 第3回図書館連携作業部会議題について打ち合わせ

○第6週

- 1/21 (月) H24 第3回図書館連携作業部会打合せ日程調整
- 1/22 (火) IR 定例打合せ
実務研修打ち合わせ
- 1/23 (水) CSI 報告書改訂着手
- 1/24 (木) 実務研修: IRDB データ依頼
- 1/25 (金) JAIRO Cloud パンフレット改訂打合せ

○第7週

- 1/28 (月) リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査
- 1/29 (火) IR 担当定例打合せ
リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査、知財へ相談
- 1/30 (水) JAIRO 改修打合せ
- 1/31 (木) 連携協力・推進会議準備
- 2/1 (金) 第1回 H24 第3回図書館連携作業部会課内打合せ

○第8週

- 2/4 (月) リポジトリワークフロー調査のための出張日程調整
- 2/5 (火) IR 担当打合せ

第2回 H24 第3回図書館連携作業部会課内打合せ

- 2/6 (水) リポジトリワークフロー調査のための出張日程調整・調査準備
- 2/7 (木) 実務研修打ち合わせ
- 2/8 (金) リポジトリワークフロー調査のための出張日程調整・調査準備

○第9週

- 2/12 (火) IR 担当打合せ
実務研修打ち合わせ
- 2/13 (水) NDL 業務連絡会資料作成補助
- 2/14 (木) リポジトリワークフロー調査のための出張日程調整・調査準備
- 2/15 (金) JAIRO Cloud パンフレット改訂案提出

○第10週

- 2/18 (月) JAIRO Cloud パンフレット改訂案調整
- 2/19 (火) 実務研修成果の為有識者会合
IR 担当打合せ
第7回 SPARC Japan セミナー2012「図書館によるオープンアクセス財政支援」参加
- 2/20 (水) 国立大学図書館協会東京地区協会研修受講
- 2/21 (木) IRDB データ分析
リポジトリワークフロー調査準備
- 2/22 (金) 九州大学出張 (リポジトリ・ワークフロー調査)
講演会「ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」参加

○第11週

- 2/25 (月) 京都大学出張 (リポジトリ・ワークフロー調査)
- 2/26 (火) IR 担当打合せ
作業部会部内打合せ
ワークフロー図作成
- 2/27 (水) リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査論点整理
- 2/28 (木) 森・濱田松本弁護士事務所へ相談
- 3/1 (金) リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査論点整理

○第12週

- 3/4 (月) リポジトリにおける PDF セキュリティ設定に関する調査論点整理
IRDB データ分析
- 3/5 (火) H24 第3回図書館連携作業部会主査事前打合せ
- 3/6 (水) OCLC 意見交換会
- 3/7 (木) H24 第3回図書館連携作業部会資料準備・会場準備
H24 第3回図書館連携作業部会

CEAL/NCC 用資料作成補助

3/8 (金)

○第 13 週

- 3/11 (月) 実務研修成果発表資料作成
JAIRO Cloud パンフレット改訂色校正
CEAL/NCC 用資料作成補助
- 3/12 (火) 実務研修成果発表資料作成
実務研修成果内容打ち合わせ
- 3/13 (水) 実務研修成果発表資料作成内容
IR 担当打合せ
- 3/14 (木) 実務研修成果発表
- 3/15 (金) 実務研修整理
H24 第 3 回図書館連携作業部会議事要旨案作成

○第 14 週

- 3/18 (月) H24 第 3 回図書館連携作業部会議事要旨案作成
- 3/19 (火) 静岡大学附属図書館見学
- 3/21 (木) 実務研修報告書作成
実務研修フライヤー案作成
- 3/22 (金)

3. 3 研修内容

○JAIRO Cloud 関連

- ・ JAIRO Cloud とは NII 内で開発した機関リポジトリソフトウェア WEKO をベースにして共用リポジトリのシステム環境を構築し、機関リポジトリを新たに構築する機関を優先して、共用リポジトリのシステム環境を提供・運用を支援するサービスである。
- ・「共用リポジトリ講習会」に参加し、WEKO の基本的な利用方法を学んだ。
- ・新年度に向けて JAIRO Cloud のパンフレット改訂に携わった。

○ERDB 関連

- ・ ERDB とは、電子リソースの書誌情報と契約情報を一元的に管理した国内の大学図書館等で入手可能な電子リソースの総合目録である。
- ・ NII において進められている電子情報資源インフラの導入に関する報告会・に参加し、その動向についてある程度知ることができた。

○学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会関連

- ・日本の最先端学術情報基盤の構築に向けて、その中核となる学術コンテンツの形成

及びサービスの提供を企画・立案し、その運営を行うための具体的な事項を大学と NII で検討する場として設けられたのが、学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会である。

- ・平成 24 年度第 3 回学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会に陪席し、記録を行った。
- ・機関リポジトリや CSI 事業関連、教育研修事業について、報告と意見交換が行われた。
- ・作業部会は今年度で終了し、大学と NII が新たな連携関係を目指していくことが確認できた。

○SPARC Japan 関連

- ・SPARC Japan とは日本の学協会の電子ジャーナルを支援することで、情報発信能力を高めることを推進する事業である。
- ・第 7 回 SPARC Japan セミナー2012「図書館によるオープンアクセス財政支援」に参加した。arXiv.org や SCOAP³の現在の活動状況を概観し、図書館と研究者が協働して取組むオープンアクセス支援のありかたについてプレゼンテーションとディスカッションが行われた。

○CSI 事業関連

- ・NII では、最先端学術情報基盤整備の一環として、機関リポジトリの構築と連携を促進するために、平成 17 年度から次世代学術コンテンツ基盤共同構築に向けた委託事業を実施している。この CSI 委託事業は平成 25 年度において公募はしないことが決まっている。
- ・第 3 期委託事業報告書の改訂に携わった。

4 研修成果

別紙 研究成果発表資料参照

ここでは簡単にまとめる。

① PDF 全文検索に伴う複製権の侵害に係る諸問題の整理

■問題の所在■

- ・「PDF のコピー禁止のフラグを無視する」という行為のみは違反ではないが、テキストファイルを抜き出す行為が複製権を侵害する可能性がある。

■過去の例■

- ・複製が著しく短時間であった場合、複製権ではないと認められた判例がある。
ex) スターデジオ事件／0.7 秒。

■解決策■

- ・複製には原則として許諾が必要となる。C 大学の代理投稿人 B が代理投稿を行う場合、全文検索のための手順について、権利者 A から許諾を取る必要がある。
- ・NII が C 大学に対して表明・保障責任を負わせれば、NII 側はリスク回避できる。

■課題■

・実際にC大学が表明・保障責任を違反してしまった場合、C大学の責任となるため、NIIは責任リスクを回避できるが、社会的信用については問題が残る。

② IRDB コンテンツ分析のデータから見る機関リポジトリの現状の分析

■IRDBのデータからコンテンツ数の多いリポジトリにどのような傾向があるのか分析する。

大学の規模や運営年数、学位授与数コンテンツ数の間には比較的弱い相関しかない。
→小さな機関、運営年数の短い機関でもコンテンツを増やしていける可能性がある。

■Journal Articleと紀要のコンテンツに注目してGreen OAの注目度を見る。

コンテンツ登録数も下がり気味である。

紀要は増減なしの平らな形の方、Journal Articleは微減。

Journal Articleの機関コンテンツ内の割合は低い一方で、紀要の機関コンテンツ内の割合は高い。

→主要コンテンツは紀要。

論文産出量から見るとまだ4%しか登録されていない。

→まだノビシロがある。

既に大きな大学は構築済。

→今後は中小機関（C～D機関）の紀要登録が期待される

③ 学術雑誌掲載論文登録のワークフロー調査

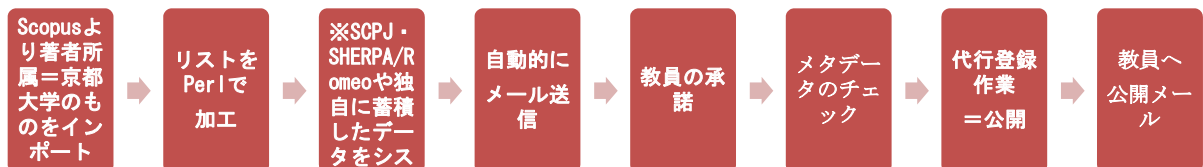
■琉球大学（ワークフロー自体は理想的であるがほとんど図書館員の代理投稿で行われている）



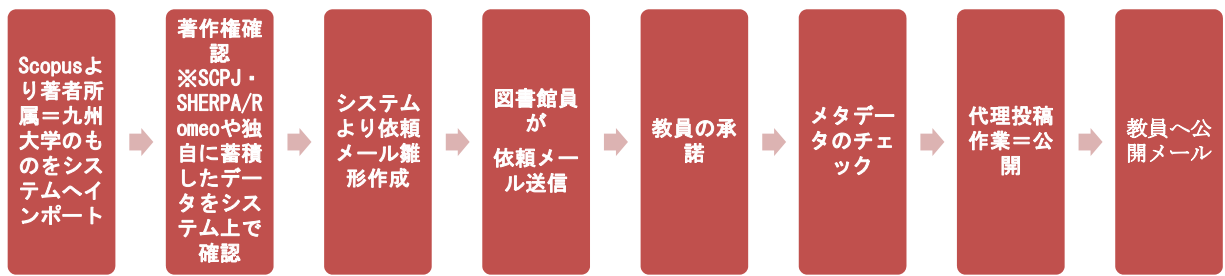
■京都大学

比較的Green OAを成功させている京都大学のモデル

※ただし、各工程にプログラミングの知識の必要なものがあり、プログラミングの知識のない担当職員が戸惑う場合もある。



■九州大学



九州大学の文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発等に新しい可能性が見えるものの、各大学の情報共有化の遅れなども浮き彫りになった。(SCPJを活用していない、独自で蓄積した情報を利用等)

5 受入体制・研修環境

- ・実務研修期間中の宿泊先として NII まで徒歩 10 分程度の距離にマンスリーマンションを用意していただき、通勤時間等を気にすることなく研修に集中することができた。
- ・十分なスペースのある机に最新のデスクトップ PC と大型ディスプレイ、NII のメールアドレス、名刺まで用意していただき、快適な研修環境であった。

6 研修を終えて

所属機関で一年程前から機関リポジトリの担当になり、全体を俯瞰する視点が欲しいとの動機からオープンアクセス等の話題に興味を持っていた。12月の初旬からこの3か月強の実務研修に参加し、機関リポジトリの担当の下でコンテンツ課の業務の一端を経験させていただいた。実務としては JAIRO Cloud の普及やサポートが主であり、機関リポジトリの構築済機関としての視点しかなく、新鮮だった。業務の中で NII の機関リポジトリにおける今後の役割、NII と大学図書館との関係についても度々考える機会があった。研修で知識として学んだことだけでなく、漠然と感じたこと等も今後の業務に生かしていく所存である。